



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議団ニュース

2011年第2回
定例6月議会

広く情報を伝え 小さな声にも耳を

鈴木やす子議員の一般質問から

7月1日におこなわれた市議会の一般質問から、鈴木やす子議員の質問の要旨を紹介します。

災害時における 広報対応

〔鈴木やす子議員〕震

災直後、情報が伝わってこないという声が市民から多く聞かれた。広報はどうだったか。

〔柏豊嬉総務部長〕広報車・広報紙および号外・新聞折り込みなどにより対応をした。

〔鈴木議員〕手書きの掲示を含め、たしかに工夫はみられたが、情報量は少なかつたし、後手に回った。今回、防災無線



県庁全部局と

毎年、住民団体「茨城共同運動」が3日間にわたって県庁全部局との交渉・懇談をおこなっています。今年の初日(7/12)には「県内の医師不足解消のために県北に医学部創設を」の要求も出されました。

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

の設置を決めたが、供用開始の予定は。また高萩市が導入したFMの利用はどうか。

〔総務部長〕緊急情報の周知は、昼夜・屋内外を問わず迅速性が求められることから、防災行政無線の整備を優先する。2カ年計画で、平潟・大津・磯原の海岸線は年度内に供用開始の見込みだ。

〔鈴木議員〕市民の被災状況や助け合いの実際、行政への要望をつかむために、市民アンケートが必要と考える。

〔総務部長〕津波被害のあった平潟・大津・磯原地区で、159件のアンケートをおこなった。今後、防災計画の見直しおよび復興計画の策定にあたって必要なあいは広げて調査したい。

〔鈴木議員〕自主防災組織の強化については。

〔総務部長〕現在、7団体の自主防災組織があり、年間3万円の補助金を交付している。

〔鈴木議員〕市民の自

主的な動きもたくさん見られた。高齢者、一人暮らしの方への日頃の安否確認も活かし、それらをマニュアル化することを求めたい。

放射能汚染対策 は市も率先して

〔鈴木議員〕放射能汚

染対策について、国・県は後手になっている。市は率先して取り組むべき。測定器は購入しないのか。

〔豊田稔市長〕人災だから、測定も機械購入も東電がやるべきだ。なければ、国がやるべき。市でも購入してもよいが、今すぐはむずかしい。

〔鈴木議員〕文科省による測定結果は、できるだけ早い公表を求める。耕作地の土壌検査についての考えは。

〔市長〕県では水田の2箇所測定にとどまっている。市独自に対応を考える。

〔鈴木議員〕放射線量について、国基準に不信感もたれているなか、独自基準を設けている自治体もある。

〔総務部長〕国の示している基準を参考にして

いる。6月28日の文科省の汚染マップ調査結果を踏まえない。

組織を頼れない 小さな声に耳を

〔鈴木議員〕災害ゴミ

撤去に市が早くから動き出したことは評価する。今後の見通しは。

〔渡辺栄司環境産業部長〕ライフライン確保のため、ボランティアや建設業者等の支援を得て撤去してきた。罹災証明書

の提示があれば、一般家庭も個人事業主などの分も無料で清掃センター等で受け入れている。あと2ヶ月ほどとみているが、伸びる可能性もある。

〔市長〕国は処分費は出すと言っており、市でも断ることはない。期間についても決めていない。

〔鈴木議員〕

個人も業者も、せめて0からのスタートを考

えるが、二重債務の軽減について国の復興計画

にない。国にしっかりと要望をして

ほしい。また原発被害への補償

については、大きな組織に属して

自然エネルギー への転換を

〔鈴木議員〕原発は「ト

イレなきマンション」とたとえられるように、廃

棄物を処理する場所すらない。脱原発について市長はどう考えるか。

〔市長〕原発を増やすのは論外。脱原発にはすすむだろうが、代替エネルギーの問題がある。各地域で自然エネルギーの創出はしていかなければならない。

〔鈴木議員〕小水力発電、その他の再生可能エネルギーへの住民への支援はどうか。

〔環境産業部長〕小水力発電は茨城県が当市をモデル事業として調査をし、国に報告をしたので、

当市でも検討したい。太陽光発電への補助は県内11市町が実施しており、その活用状況を踏まえながら、本市でも慎重に検討したい。

市議団が独自に 放射線測定器

このほど党市議団では、携帯型の放射線測定器を購入しました。利用のご相談や測定依頼についてはお気軽に市議団まで。



磯原町木皿地内(7/15)